

特集 漫画で描かれた私たちのまち

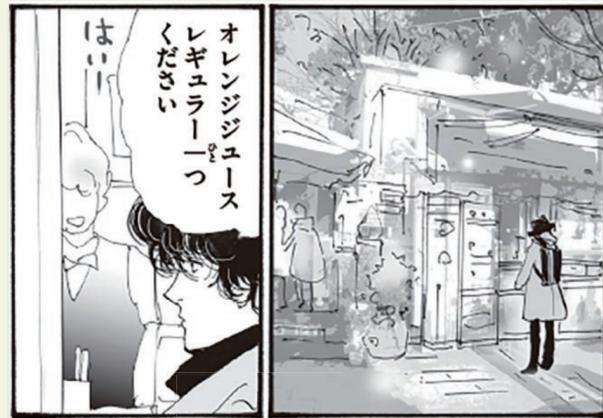
なか ミステリと言う勿れ

著者:田村由美
出版:2018~2023年
(小学館)
1~13巻(今年3月8日
時点)



主人公の大学生・久能 整が、卓越した洞察力で謎も人の心も解きほぐしていく新感覚ストーリー。読み進めると、キャラクターの繊細な心理描写や予測不能な展開に翻弄されます。

一昨年テレビドラマ化、昨年通称“広島編”(2~4巻)が映画化されました。“広島編”では、整が美術展を見るために広島を訪れます。そこで、代々、遺産を巡る争いで死者さえ出るといわれる付きの名家の遺産相続事件に巻き込まれていくストーリーです。



©田村由美/小学館

広島が描かれた場面

遺産相続人候補の少女・狩集夕路と出会う直前のシーンで描かれたカフェ。広島観光を満喫中の整が、Café Ponteでオレンジジュースを注文する1コマ(2巻掲載)

実際の場所はこちら



水辺のオープンカフェ

広島が登場する漫画を、現地の写真と併せて紹介します。この春は、漫画を読んで、作品に登場した場所へ出かけてみませんか。
岡まんが図書館(☎261-0330、☎262-5406)

にぎわいと 安らぎの空間

Café Ponteは、京橋川と元安川の河岸緑地に展開している水辺のオープンカフェの一つです。

同オープンカフェは市内に計8店舗(下図●)。広島駅と紙屋町・八丁堀を結ぶ動線と、平和記念公園の近くに位置し、訪れた人が、にぎわいと安らぎを感じられる水辺の空間づくりを行っています。

さらに、猿猴川の河岸緑地の活用を進めるため、「川の駅」(下図●)で、飲食販売などのイベントを不定期で開催しています(右写真)。

詳しくは、ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」(下二次元コード)で。
水辺のオープンカフェ 川の駅
岡観光政策部(☎504-2676、☎504-2253)

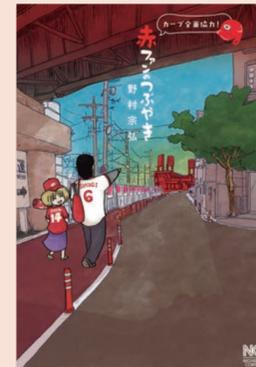


赤ファンのつづやき

著者:野村宗弘
出版:2015年(日本
文芸社)
1巻完結

15年連続4位以下だった2012年から、優勝を決める前年の2015年までのカーブを総括。ファンなら当然知っているカーブのあるあ

るネタから、マニアックな知られざるネタまで。著者の野球への愛があふれて止まない一冊です。



©野村宗弘/日本文芸社

広島が描かれた表紙

主人公の主夫・倉橋惣一と、妻のカナがマツダスタジアムへ向かう姿



実際の場所はこちら

通称“カープロード”

試合開催時の混雑を緩和するために

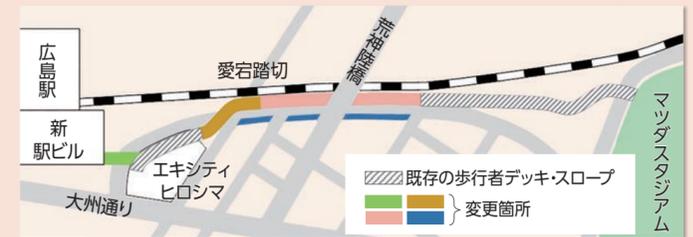
広島駅とマツダスタジアムを結ぶ“カープロード”。試合開催時には多くの歩行者が通行するため、安全で快適に歩けるよう、整備を進めています。
岡街路課(☎504-2264、☎504-2427)



▲愛宕踏切付近の整備後のイメージ図

ここが変わる

今年3月	来年春	2029年度まで
<ul style="list-style-type: none"> エキシティヒロシマから愛宕踏切を過ぎたところまでペDESTリアンデッキで接続 	<ul style="list-style-type: none"> 新駅ビルからエキシティヒロシマまでペDESTリアンデッキで接続 線路側の歩道を3.5mから5.5mに拡幅 	<ul style="list-style-type: none"> 線路反対側の歩道を1.5mから3.5mに拡幅 拡幅した歩道上の電線類を地中に埋める



広島を描く漫画は他にも! 気になる人はまんが図書館へ

広島にゆかりのある漫画を集めたコーナーを設置しています。今回紹介した漫画の他、「はだしのゲン」「この世界の片隅に」など平和をテーマにした作品や、広島出身の漫画家の作品も多数取りそろえています。



まんが図書館 鍵本麻由主事

ワカコ酒

著者:新久千映
出版:2011~2024年
(コアミックス)
1~22巻(今年3月8日
時点)



広島が描かれた場面

広島に帰省していたワカコ。東京に戻るため久しぶりに高速バスに乗ることに。バスの待ち時間にバスマチのフードコートで酒を楽しむ。右はバス乗り場の1コマ(21巻掲載)

©新久千映/コアミックス



実際の場所はこちら



広島バスセンター

市内中心部に位置するバスネットワークの拠点で、平日は約1,300台のバスが発発。乗り場は1番から11番まであり、28社のバス事業者が乗り入れる

市内中心部の移動は お得で便利な デジタルシティパス

400円で乗り放題

多くのバス路線や路面電車の行き交う市内中心部では、「デジタルシティパス」の利用がお勧めです。

同パスは、均一運賃エリア内(下図)を運行する路線バス7社と路面電車(市内線)が、6時間乗り放題となるデジタル乗車券です。

【利用方法】
①ウェブサイト「MOBIRY」にアクセス・ログインし、事前購入
②降車時、乗務員にスマートフォンの画面(右)を見せる



MOBIRY 検索
岡公共交通政策部(☎504-2383、☎504-2426)

利用できる日	利用できる時間	販売金額
平日 (出・日・祝・休)	10:00~16:00の6時間 6時間(時間帯の制限なし)	400円/日 小学生・障害者は200円/日

利用可能範囲



※深夜バス、観光周遊バス「めいぶる〜び」など一部利用できないバス・路線があります。詳しくは、ホームページ(上二次元コード)でご確認ください